

絵本が好きな子どもを育てるためには

愛私幼 H22, 23 課題研究から

九品寺幼稚園 村手 敦

愛知県私立幼稚園で行った課題研究をもとに発表します。研究のまとめは椙山女大学附属幼稚園教頭 三田郁穂さんによるものです。

①絵本をめぐる環境 ②幼児が絵本に親しむことができるような教師の働きかけと環境構成 ③家庭との連携の3点がポイントと考えて、22年度は①と②について、「絵本に興味がない子はこれまでに絵本の楽しさを知る経験が少なく、絵本の楽しさを経験できるような働きかけや環境構成ができれば、絵本が好きになる。」という仮説を立て研究を進めた。

① 絵本をめぐる環境に関しては、

- ・ 読みきかせ
 - ・ 絵本の配置・分類の仕方
 - ・ 貸し出し
 - ・ 家庭との連絡
 - ・ その他
- の現状を、各園でまとめた。

② 教師の働きかけおよび環境構成に関しては、各園で具体的な実践を行い、事例としてあげた。

結果として、

- ・ 絵本に興味を持つきっかけを作る。
- ・ その子に合った絵本を選び、楽しさを伝える。
- ・ 興味がある絵本をいつでも取り出せるような環境を作る。

のポイントを押さえ、援助をすることにより、幼児の絵本に対する関わり方が変わってくるのがわかった。

23年度は、

③ 家庭との連携について研究し、

園での取り組みを家庭につなげ、家庭においても十分に絵本に親しむことができるような園としての働きかけや援助について考えた。

まずアンケートにより、家庭での絵本の読みきかせを調査し、その結果から家庭への発信を継続して実施、事例研究から考察を進める、という2点から研究を進めた。

家庭への発信としては、

- ・ アンケート結果の報告
- ・ 絵本通信の発行
- ・ 講演会の実施 を行った。

事例研究

- ・ 家庭に絵本の良さを継続的に伝えること。
- ・ 幼稚園と家庭が情報を共有し、同じ目線で子どもに働きかけること。

2年間のまとめとして、

幼児を取り巻く周囲の大人が絵本の良さを知り、絵本の楽しさや面白さを幼児に伝えていくことが大切であり、幼稚園がそのための役割を意識し、しっかりと担い続けていくことが重要なのだと実感しました。

課題研究を踏まえての、自園での取り組みの変化

I. 月刊絵本の試験的導入。

『こどものとも』を1人1冊。

II. 絵本の題材を、身近にする工夫。

そらまめの栽培や、クッキング等。

III. 絵本通信を深める。

リレー形式で職員が紹介した本にポップをつける等。

IV. 読みきかせに保護者のボランティア枠ができた。